

## 第6章 事業成果と求められる取組

---

### 1. 事業成果

下記項目が事業成果としてあげられる。今回の資料自体は、素材としての提供にとどまるので、今後は目的に応じて本資料を参照し活用していただきたい。

- ・ モデルキャリア開発図：第3章参照
- ・ 人材育成ノウハウ集：第4章参照
- ・ IT産業の業務の紹介とIT産業の魅力：第5章参照

今回の事業成果として、特筆すべき事項は下記である。

すべての成果物は、ITスキル標準の技術職を中心とした9職種各10名、合計90名のインタビューをもとにしている。その90名の「生の声」が反映された成果物となっている。

90名は、トップレベルばかりの人ではなく、現場で輝いている中堅クラスの人も含んでいる。したがって、成功された方ばかりでなく、今後の活躍が期待される方々の声も含んだ成果物となっている。インタビュー対象者には女性技術者を3割含めた。

また、「キャリアを意識し見識もあるITプロフェッショナル」および「広範な企業から特定製品に偏りが無い人材」の集まりであるCDP委員の支援を得ている。CDP委員会でレビュー等をしていただき、業界で成功した方々のキャリアを提示するだけでなく、普遍的、汎用的なメッセージを選びすぐった成果物となっている。

## 2. 活用に関するコメント

CDP 委員会の職種別部会で、今回の成果物の活用に関する議論をいただいた。また、IT 業界の魅力発信戦略に関する検討会、各種団体および大学等へのヒアリングで活用に対する意見をいただいた。それらを実際に広報活動する際の参考になるよう生の声として、下記にまとめた。

### (1) 大学への広報活動について

- 大学の講義での活用。
- 大学の講座として授業（15 コマ/半期）の実施。
- 情報系大学の協議会（大学就職指導研究会等）で紹介。
- 大学の就職フェア、セミナー等で紹介。
- 大学3年生向けの業界説明会で活用。
- 大学の就活担当の先生に紹介。
- すべての大学の就職課にパンフレットや冊子等で配布。
- 携帯サイトでリクナビに就活サイトとリンク。
- 大学・専門学校へ入る前の高校生へ紹介。

### (2) 各種団体での活用について

- ユーザ企業にも広報（IT 人材としては同じなので）。
- インタビュー対象者の生の声を聞いてもらう講演会、パネルディスカッション、意見交換会等の実施。
- 出版社（業界誌）等で使ってもらい広報。
- 各種団体のセミナー等での活用。
- Twitter を使って、CDP などをキーワードに宣伝（クチコミの力を利用する）。
- ポータルからのダウンロードでの活用。
- 企業での各種説明会等で活用。

### (3) 企業内での活用について

- 若手社員に対し、これからどういうふうにしていけばいいかという指針として活用。
- 若手と管理者がキャリアについて話し合う時の材料（資料）として活用。
- 人材育成ノウハウ集の個人向けについて、3年目に突入した人に対して、会社として利用（一般には、セルフモチベーション研修、キャリア研修などが行われている時期）。
- 2年目の人にひととおり（個人キャリアパス90名含め）読ませ、自分がどうなりたいか、考えさせるための教材として活用。管理、監督する役職層にも紹介しておく効果的。
- 人材育成モデルに活用。人の名前が出ているので迫力がある。

- 人材育成計画を立てる際に参考資料として活用。
- 新人向けのテキストとして活用。
- 社内でインタビューを実施し、教育のやり方を見直すきっかけとして活用。
- 社内への職種紹介資料として活用。
- CDP 面接時にテンプレートとして活用。
- 業界のリファレンスとして利用。
- 階層別教育（幹部以上）で活用。

### 3. 今後の求められる取組

課題、CDP 委員会職種別部会、IT 業界の魅力発信戦略に関する検討会、各種団体へのヒアリングおよび大学等へのヒアリングでのコメントから、下記項目を今後の求められる取組みとして提言する。

#### (4) IT 産業の魅力発信

今回の目的は“IT 業界の魅力発信”のための基礎資料作成である。今後は、就職活動者（主に学生）を対象にした情宣活動が求められる。

具体的には、就職斡旋会社、大学、企業、業界団体の大きく4つの経路で、各々次のような活動が考えられる。就職斡旋会社に対してはバナー広告等、大学に対しては就職課への冊子配布や、寄付講座などによる企業からの派遣講師による講座開催の働きかけ、業界団体に対しては説明会などでの冊子配布、企業に対しては説明会などでの冊子配布等である。

また、IT 産業の魅力発信の広報活動は、就職活動の働きかけと同期して、年間を通して可能である（図 6-1）。現状では、特に秋以降での広報が盛況である。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大学主催						インターシップ マッチングセミナー				業界研究企業 セミナー		
特殊寄附講座（年間通して実施。90分x15コマ。期間は1ヶ月集中から半年間。）												
企業主催	合同 就職説明会							ワンデーインター シップ説明会		企業毎の 就職説明会		
業界団体主催		大学の就職指導者 へのセミナー										
就職斡旋会社 主催						インター シップ ライブ				就職紹介サイトの 初期登録者への配布		
就職紹介サイト バナー広告												
その他	大学職業指導研究会（各地域にある。首都圏では120大学参加で4分科会あり。そのうちの企業研究会で冊子等配布可）											

:開催時期

図 6-1 広報活動状況

(5) 女性技術者等の有効活用施策検討および活用活性化のための情宣活動

現在、情報サービス産業では女性就業率が約 11%（平成 20 年 11 月 1 日現在で経済産業省が実施した「平成 20 年特定サービス産業実態調査」の調査結果の「ソフトウェア業」と「情報処理・提供サービス業」の合計）と全産業に比べて、低い数字となっている。

今回の事業では、意識的に、全体の約 3 割になるよう、女性技術者へのインタビューを実施した。これらの情報をもとに、女性技術者等の有効活用施策を検討することを期待したい。

具体的には、女性技術者のコミュニティ等を設置して、情報サービス産業における女性技術者の割合を増やすための方針および施策等を考える、女性技術者の活用活性化のための情宣活動を提言してもらい、女性の観点からの情報サービス産業のイメージ向上施策を考える、などである。

(ページ調整)